

食品産業労働生産性向上技術導入実証事業

【令和4年度補正予算額 150百万円】

<対策のポイント>

食品産業の生産性向上により国際競争力を強化するため、AI、ロボット、IoT等を活用した食品の製造・品質管理等の自動化、リモート化技術、さらにはコロナ対策の更なる向上のための非接触型技術を実際の食品製造や飲食店等の現場にモデル的に導入、実証する取組を支援するとともに、より多くの中小企業が導入できるよう、低コスト化や小型化のための改良の取組を支援します。

<事業目標>

食品製造業の労働生産性3割向上（2018年比〔2030年まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 生産性向上に向けた先端技術のモデル実証・改良

① モデル実証

AI、ロボット、IoT等を活用した食品の製造・品質管理等の自動化、リモート化技術、さらにはコロナ対策の更なる向上のための非接触型技術を実際の食品製造や飲食店等の現場にモデル的に導入、実証する取組を支援します。

② 改良

AI、ロボット、IoT等を活用した自動化技術等を、業界の大宗を占める多くの中小企業が導入できるよう、低コスト化や小型化に関する改良の取組を支援します。

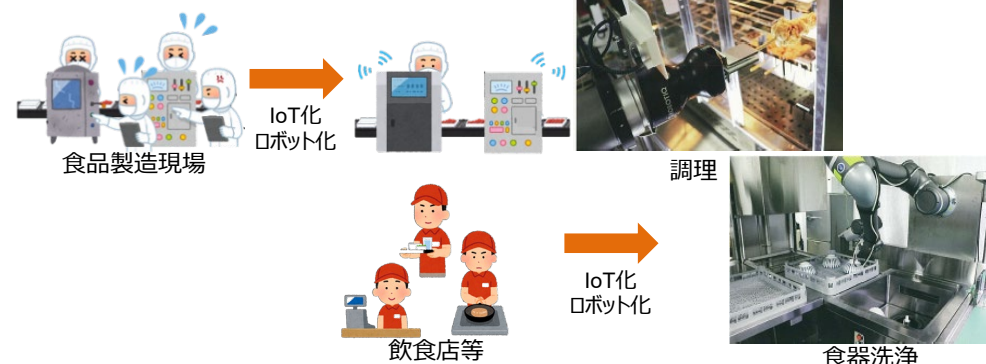
2. 横展開に向けた情報発信

上記1の取組等の成果を食品業界全体に普及させるため、動画の作成や研修会、シンポジウムの開催等の取組を支援します。

<事業の流れ>



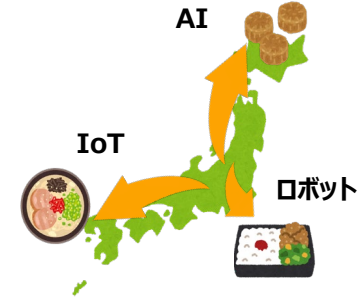
1. ①モデル実証



1. ②改良



2. 横展開に向けた情報発信



生産性向上・国際競争力の強化

【お問い合わせ先】 大臣官房新事業・食品産業部食品製造課（03-6738-6166）